

採録にあたって

文責：丸岡ひろみ（ON-PAM国際会議室所属。本会議の主担当）

光州のアジア芸術劇場のオープニング・フェスティバルで実施したセッションの報告を、一部を除いてメンバーのみを対象としてパスワードを掛けてサイトに上げています。報告は採録の形にて作成、その採録は参加したメンバーが分担しました。また、シンポジウム参加の方には紙資料でご覧頂けるよう準備します。

セッション自体はON-PAMのメンバー以外でも参加できたにもかかわらず、その採録を一般公開しないのは次の理由からです。本来、採録というのは、発言したご本人にその内容を確認してもらう作業が不可欠ですが、今回韓国語でも採録を実施し本人確認をする余裕がありませんでした。採録をご覧頂くとお分かりいただけるかと思いますが、日本語通訳を元に複数で文字をおこし、かなり韓国語の分かるメンバーに確認してもらいつつ記しています。発言者本人の発言の本当のニュアンスとかが分からない箇所もあり、なので、そのまま通訳の言葉を残すなどとして、読みづらい文章になってしまっていますが、少人数で逐次通訳を通してじっくり行った会議の感じを伝えたくてそのままにしています。

レポートにあたり、サマリーを上げるという提案も、もちろんあったわけですが、出来るだけ採録形式で報告したいと私は考えました。たとえ不完全でもです。というのは、この採録は、本会議に興味がなかった人にも興味を持ってもらいたいというより、興味があったのに、来なかったのに、都合で参加できなかった人に向ける必要をより多く感じて報告するために行うべきと考えたからです。韓国側の発言者に確認を取っていませんので、その事をご了解いただき、創造力を働かせて本記録を読んで頂ければ幸いです。